

# NEWS RELEASE

2016年3月14日

## 日本初 スマートフォンアプリを活用した企業向け「音声による睡眠チェックサービス」の 開発開始および試行提供開始について

損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント株式会社<sup>(※1)</sup>（本社：東京都新宿区、以下「損保ジャパン日本興亜リスク」、代表取締役社長：角 秀洋）は、株式会社アニモ<sup>(※2)</sup>（本社：神奈川県横浜市、以下「アニモ」、代表取締役社長：茂手木 正也）と協働で、日本国内では初となるスマートフォンアプリを活用した企業向け「音声による睡眠チェックサービス」（以下「本サービス」）の開発を開始し、3月14日から試行提供を開始します。試行提供を経たうえで、2016年6月以降、有料で本格提供を開始する予定です。

\*1 2016年4月1日付で、株式会社全国訪問健康指導協会および損保ジャパン日本興亜ヘルスケアサービス株式会社と合併し、社名が「SOMPOリスクマネジメント株式会社」へ変更になります。

<参考>2016年2月22日ニュースリリース「SOMPOホールディングス傘下会社3社の合併について～『健康経営推進支援サービス』の提供開始～」([http://www.sjnk-rm.co.jp/news/images/20160222\\_1.pdf](http://www.sjnk-rm.co.jp/news/images/20160222_1.pdf))

\*2 株式会社アニモは、1994年の創業以来、「声・音」をキーテクノロジーとしたマルチメディア・ソフト、サービス及びソリューションを開発、販売しており、産業機器への組み込み、コンタクトセンターソリューション、エンターテインメントなどの各分野への製品提供を行っています。詳しくは、株式会社アニモのウェブサイト(<https://www.animo.co.jp>)をご覧ください。

### 1. 背景

昨今の交通事故の要因として、運転者の健康状態に起因する事故（以下「健康起因事故」）の増加が指摘される中で、運転者の健康維持は、自動車を業務で使用する企業には不可欠な取り組みとなっています。健康起因事故の要因となりうる「睡眠時無呼吸症候群（Sleep Apnea Syndrome、以下「SAS」）」においては、早期に発見し適切な治療を行うことで健康な人と同じように安全運転を続けることが可能となることから、国土交通省が運輸事業者に対して SAS スクリーニング検査<sup>(※3)</sup>を推奨する<sup>(※4)</sup>など SAS 対策の必要性を示しています。しかし、費用面や手間の問題から、検査に踏み切ることができない事業者が多くいます。

こうした状況を踏まえ、損保ジャパン日本興亜リスクでは、アニモと協働し、SAS スクリーニング検査の対象となる運転者の絞り込みに役立つ本サービスの開発を開始しました。

\*3 SAS スクリーニング検査は、一般的に以下の方法により、睡眠中の無呼吸や低呼吸、呼吸障害の程度を把握します。

- ・パルスオキシメトリ法：指先に付けたセンサで睡眠中の動脈血の酸素飽和度をモニタリングして把握
- ・フローセンサ法：鼻と口の先に付けたセンサで睡眠中の気流状態をモニタリングして把握

\*4 国土交通省自動車局「自動車運送事業者における睡眠時無呼吸症候群対策マニュアル～SAS 対策の必要性と活用～」

### 2. 本サービスの概要

#### (1) 内容

アニモが開発した、いびきをチェックするスマートフォンアプリ「ZooZii（ズージー）」（以下「本アプリ」）により、運転者の睡眠中の音（いびき）を最低3時間自宅で録音し、いびきの有無や、いびき区間に挟まれた無音区間を「無呼吸区間」として検出し、その結果をもとに損保ジャパン日本興亜リスクが企業管理者に定期的にレポートを作成・提供します。SAS の予兆を可視化し、SAS の早期発見の第一歩<sup>(※5)</sup>として活用することができます（本アプリの画像イメージは<別紙>参照）。

\*5 SAS の診断にあたっては、スクリーニング検査ならびに医療機関による精密検査が必要です。

#### (2) 対象

運転者の健康起因事故防止、安全運転管理に関心のある企業（運輸業、非運輸業を問いません）

#### (3) 特長

- ・本アプリは、耳鼻咽喉科学の権威である加我君孝東京大学名誉教授が監修したアニモによる音分析ロジック（特許取得済、特許第5827108号）を活用しており、SAS の可能性のある睡眠時の状態を可視化・数値化<sup>(※6)</sup>します。

- ・本アプリは、一般社団法人ヘルスソフトウェア推進協議会（以下「本推進協議会」）が推進する業界自主ガイドライン「ヘルスソフトウェア開発ガイドライン<sup>(\*7)</sup>」に適合する製品として、本推進協議会から、スマートフォン専用アプリとして第一号の適合登録を受けており、利用者に対する安全性と品質を確保しています。
- ・本アプリには、その日の睡眠時間や健康状態、就寝前の飲酒の有無などをメモする機能が付いており、運転者は、自身の体調管理にお役立ていただけます。
- ・企業管理者向けに、運転者の睡眠状態をまとめたレポートを定期的に提供しますので、SASスクリーニング検査を実施する対象者の絞り込みに活用いただけます。
- ・一般的なSASスクリーニング検査は1回数千円程度の検査費用がかかりますが、スマートフォンを利用することで身体に直接触れずにチェックすることができるため、企業は、「安価で」「何回でも」「手軽に」、日々の睡眠の状況を確認することが可能です。

\*6 豊橋メイツ睡眠治療クリニックとアニモでの検証実験の結果、SAS患者をSAS患者として検出する確率はほぼ100%、健常者を健常者として検出する確率は70%、健常者のうちいびきを持っているSAS予備軍を検出する確率が30%となっています。

\*7 ヘルスソフトウェア開発ガイドラインは、経済産業省が開催した「医療用ソフトウェアに関する研究会」での検討・議論の結果を踏まえ、産業界として優良なヘルスソフトウェア（個人の健康管理・維持・向上目的又は医療の提供に使用されることを意図したソフトウェア）を提供するための業界自主ガイドラインとして制定されています。

#### (4) 本サービス本格提供開始時の予定価格（年間利用契約の場合）（税抜）<sup>(\*8)</sup>

- ・利用者 20名まで 10万円～
- ・利用者 100名まで 40万円～

\*8 試行提供を踏まえ、変更になる場合があります。

### 3. 本格提供時の受注目標

年間50社、2,000名へのサービス提供を目指します。

### 4. 今後の展開

損保ジャパン日本興亜リスクは、企業の安全運転とリスクマネジメント活動に貢献するものとして、本サービスの開発を加速してまいります。

#### 損保ジャパン日本興亜リスクマネジメントについて

損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント株式会社は、損保ジャパン日本興亜グループのリスクコンサルティング会社です。全社的リスクマネジメント（ERM）、事業継続（BCM・BCP）、火災・爆発事故、自然災害、CSR・環境、セキュリティ、製造物責任（PL）、労働災害、医療・介護安全および自動車事故防止などに関するコンサルティング・サービスを提供しています。詳しくは、損保ジャパン日本興亜リスクマネジメントのウェブサイト（<http://www.sjnk-rm.co.jp/>）をご覧ください。

#### サービス内容に関するお問い合わせ先

損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント株式会社  
自動車コンサルティング開発部 [担当：竹村・白井]  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル  
TEL：03-3349-5438（直通）

#### 報道機関の方からのお問い合わせ先

損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント株式会社  
営業推進部 [担当：田所]  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル  
TEL：03-3349-5468（直通）

以上

<別紙>本アプリの画像イメージ

